

皆様おはようございます。

ついに宣教師の先生方の開くカフェが金曜日の夜にオープンしました。庄原教会からたくさんの方々をご参加くださりまして、お友達もお連れ下さりまして、本当にありがとうございました。

今週は木曜日みの開店です。来週からは木曜日と金曜日の午後5時から8時まで開店なさいます。お働きのため、お交わりのため、神様のお働きをぜひ皆様お祈りくださいますように、お願いいたします。

また今日から明日にかけて庄原教会教会学校の一泊お泊りキャンプが行われます。共に聖書を味わい、ビデオを見たり賛美したり、花火をしたり出掛けたり、食事をしたり、その中で子供たちが、お父さんお母さんが信仰にさらに養われますようにお祈りをよろしくお願いいたします。

さて今日はヤコブ1章の締めくくりの個所です。

19 愛する兄弟たちよ。このことを知っておきなさい。人はすべて、聞くに早く、語るにおそく、怒るにおそくあるべきである。

これは本当に言えている言葉です。聖書のほかにも多くの書物に記されている言葉ではないでしょうか。

人は聞くに遅く、語るに早く、怒るに早く、人の言うことを聞くのが苦手で、人の話は上の空で自分が語りたことばかりが頭の中にごめいています。すぐにイライラして、人を批判してしまいます。自分の事は棚に上げて。こういう人間の在り方ですから、人との間の交流はうまく行かないことがしばしばです。上手に隠して取り繕ったとしても、心の中にある自己中心性というものはいつもくすぶっていて、何かがあるとそれが爆発するということがあります。

20 人の怒りは、神の義を全うするものではないからである。

21 だから、すべての汚れや、はなはだしい悪を捨て去って、心に植えつけられている御言を、すなおに受け入れなさい。御言には、あなたがたのたましいを救う力がある。

人の心の中には、「すべての汚れや、はなはだしい悪」が渦巻いているからです。ある人は、これを泥が沈殿して透き通った水に例えました。普段は上澄みの液を見るとききれいに透き通っているようですが、何かがあってコップの中に渦が巻くと途端に何も見えない真っ茶色な泥水に代わるのです。

しかし聖書には解決法が記されているのです。怒りにすぐに燃え、聞くに遅く語るに早く、けんかっ早い人間、「すべての汚れや、はなはだしい悪」の満ちあふれる人間のため、御言

葉はこう語るのです。

「すべての汚れや、はなはだしい悪を捨て去って、心に植えつけられている御言を、すなおに受け入れなさい。御言には、あなたがたのたましいを救う力がある」

今、汚れやはなはだしい悪を思うあなたに告げる。心に植え連れられている御言葉をこそ素直に心に受け入れなさい。そして自らの汚れに悩む人よ、あなたの心の中にはもう既に真理の御言葉が植え付けられているのではないか。その御言葉を唯々受け入れて、刹那刹那に浮かび来る「すべての汚れや、はなはだしい悪」を捨て去って、かなぐり捨てて神様に頼りなさい。御言には、あなたがたのたましいを救う力があるからである。

私たちの心の中に、神様が私たちの心をいつも柔らかく耕してくださり、そして御言葉の種を蒔き、それが心の中にしっかりと植え付けられているのではないか。それを実らせなさい。御言には、あなたがたのたましいを救う力がある。この救いの御言葉を大切にし、この御言葉に目を留めなさい。そしてその都度その都度御言葉に照らして示された「すべての汚れや、はなはだしい悪を捨て去り続けなさい。そう語られているのではないのでしょうか。御言には、あなたがたのたましいを救う力がある、御言には、あなたがたのたましいを救う力がある、御言には、あなたがたのたましいを救う力がある！！私たちは心の中にあふれる「すべての汚れや、はなはだしい悪」を取り去っても取り去っても次々と黒雲のように湧いてくる自らの罪の性質を突き付けられます。しかしそれでも御言葉に照らされて気付きを頂いて取り去り続けるのです。そしてここにさらに私たちを清くする方法が書いてあります。

22 そして、御言を行う人になりなさい。おのれを欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけな

23 おおよそ御言を聞くだけで行わない人は、ちょうど、自分の生れつきの顔を鏡に映して見る人のようである。

24 彼は自分を映して見てそこから立ち去ると、そのとたんに、自分の姿がどんなであったかを忘れてしまう。

25 これに反して、完全な自由の律法を一心に見つめてたゆまない人は、聞いて忘れてしまう人ではなくて、実際に行う人である。こういう人は、その行いによって祝福される。

「完全な自由の律法を一心に見つめてたゆまない」、この熾烈な御言葉と共に生きる生活を送る、すなわちそれは御言葉を聞くだけでなく御言葉を行う生活、御言葉に生きる生活をする中で救いが完成します。

聞くだけで離れてしまうのならば、聞くだけで、何ら行動が変えられないとしたら、それは自らを欺いているのだ、このイエスキリストの十字架による贖いの愛の御言葉を読んで、御

言葉を聞き流すがままにして、何の応答も起こらないとしたら、それは自分を欺いているのだと聖書は語ります。

それはちょうど自分の生まれつきの姿を鏡で見るようなもの。

生まれたばかりの、ありのままの、自然な姿、それはすなわち原罪にある、聞くに遅く、語るに早く、怒るに早い自分。すべての汚れや、はなはだしい悪が心の中に渦巻いている自分です。鏡とは聖書の言葉の事でしょう。聖書の御言葉は、私たちのための鏡、レントゲン写真のようにこれを見て、「神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髄とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。」(ヘブル 4:12) 真実の姿を私たちに示すことができます。

私たちはどう思うのでしょうか。ああ醜い姿だと思いこそすれ、そのまま鏡を立ち去ったならば、鏡を見なかったのも同じです。鏡を見て、さあどう直そう、どう解決しようと思い、実際に行動する人こそが鏡を見た甲斐のある人々、鏡を見て役に立てることが出来る人々です。

25 これに反して、完全な自由の律法を一心に見つめてたゆまない人は、聞いて忘れてしまう人ではなくて、実際に行う人である。こういう人は、その行いによって祝福される。

ヨハネ 8:31 イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。

8:32 また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。

聖書は神様があふれる愛のゆえに人を悔い改めさせるためら恵みと赦しを与え、実に神のひとり子、神ご自身である御子イエスキリストの命さえ惜しまずに私たちに与えて下さったということが記してある書物です。ここには赦しと再生がありますが、それを望む者にのみ与えられます。

御言葉を行うこと。それは具体的にはどういう事でしょうか。それはあくせくして自分の罪汚れと格闘し、鏡の前に必死に寝癖を直すようなことではありません。それはもっともっと積極的なことです。それは御言葉の中に表されている神様の姿に近づくことです。

エペソ 4:10 降りてこられた者自身は、同時に、あらゆるものに満ちるために、もろもろの天の上にまで上られたかたなのである。

4:11 そして彼は、ある人を使徒とし、ある人を預言者とし、ある人を伝道者とし、ある人を牧師、教師として、お立てになった。

4:12 それは、聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、

4:13 わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。

1 ヨハネ 4:18 愛には恐れがない。完全な愛は恐れをとり除く。恐れには懲らしめが伴い、かつ恐れる者には、愛が全うされていないからである。

4:19 わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。

4:20 「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者は、偽り者である。現に見ている兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することはできない。

4:21 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきである。この戒めを、わたしたちは神から授かっている。

26 もし人が信心深い者だと自任しながら、舌を制することをせず、自分の心を欺いているならば、その人の信心はむなしなものである。

27 父なる神のみまえに清く汚れのない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まらずに、身を清く保つことにほかならない。

これこそが神の前にある信仰者の生涯です。

2 コリント 11:22 彼らはヘブル人なのか。わたしもそうである。彼らはイスラエル人なのか。わたしもそうである。彼らはアブラハムの子孫なのか。わたしもそうである。

11:23 彼らはキリストの僕なのか。わたしは気が狂ったようになって言う、わたしは彼ら以上にそうである。苦労したことはもっと多く、投獄されたことももっと多く、むち打たれたことは、はるかにおびただしく、死に面したこともしばしばあった。

11:24 ユダヤ人から四十に一つ足りないむちを受けたことが五度、

11:25 ローマ人にむちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度、そして、一昼夜、海の上を漂ったこともある。

11:26 幾たびも旅をし、川の難、盗賊の難、同国民の難、異邦人の難、都会の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難に会い、

11:27 労し苦しみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢えかわき、しばしば食物がなく、寒さに凍え、裸でいたこともあった。

11:28 なおいろいろの事があった外に、日々わたしに迫って来る諸教会の心配ごとがある。

11:29 だれかが弱っているのに、わたしも弱らないでおれようか。だれかが罪を犯しているのに、わたしの心が燃えないでおれようか。

1 コリント 9:16 わたしが福音を宣べ伝えても、それは誇にはならない。なぜなら、わたしは、そうせずにはおれないからである。もし福音を宣べ伝えないなら、わたしはわざわいで

ある。

9:17 進んでそれをすれば、報酬を受けるであろう。しかし、進んでしないとしても、それは、わたしにゆだねられた務なのである。

9:18 それでは、その報酬はなんであるか。福音を宣べ伝えるのにそれを無代価で提供し、わたしが宣教者として持つ権利を利用しないことである。

9:19 わたしは、すべての人に対して自由であるが、できるだけ多くの人を得るために、自ら進んですべての人の奴隷になった。

9:20 ユダヤ人には、ユダヤ人のようにになった。ユダヤ人を得るためである。律法の下にある人には、わたし自身は律法の下にはないが、律法の下にある者のようにになった。律法の下にある人を得るためである。

9:21 律法のない人には——わたしは神の律法の外にあるのではなく、キリストの律法の中にあるのだが——律法のない人のようにになった。律法のない人を得るためである。

9:22 弱い人には弱い者になった。弱い人を得るためである。すべての人に対しては、すべての人のようになった。なんとかして幾人かを救うためである。

9:23 福音のために、わたしはどんな事でもする。わたしも共に福音にあずかるためである。

ピリピ 2:4 おのおの、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。

2:5 キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。

2:6 キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、

2:7 かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

2:9 それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。

ピリピ 2:17 そして、たとい、あなたがたの信仰の供え物をささげる祭壇に、わたしの血をそそぐことがあっても、わたしは喜ぼう。あなたがた一同と共に喜ぼう。

2:18 同じように、あなたがたも喜びなさい。わたしと共に喜びなさい。

私たちがイエス様の足跡に従って愛の心で生きるのなら、神の愛は私たちのうちに全うしています。私たちはイエス様を愛し、私たちはイエス様に仕えるのです。

1 ペテロ 2:21 あなたがたは、実に、そうするようにと召されたのである。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、御足の跡を踏み従うようにと、模範を残されたのである。

マタイ 25:34 そのとき、王は右にいる人々に言うであろう、『わたしの父に祝福された人た

ちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意されている御国を受けつぎなさい。

25:35 あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し、

25:36 裸であったときに着せ、病気のときに見舞い、獄にいたときに尋ねてくれたからである』。

25:37 そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。

25:38 いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せましたか。

25:39 また、いつあなたが病気をし、獄にいるのを見て、あなたの所に参りましたか』。

25:40 すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』。

主の仕えるようにして、その、私たちのお苦しみになられる隣人に仕えたいと願います。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。聞くに遅く、話すに早く、怒るに早い、あらゆる汚れやあふれるほどの悪の中に心が動かされるものですが、救いの道をお開き下さり、ありがとうございます。御言葉を聞くだけでなく行う者となり、御言葉の内におられる主のお姿をいよいよ知り、主なる神様に似せられたものとして愛の人としてさらに成長することが出来ますように、今週もお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン